



2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年8月9日

上場会社名 ユミルリンク株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4372 URL <https://www.ymir.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 亘
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 小林 幹彦 TEL 03-6820-0514
 四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2023年12月期第2四半期の業績（2023年1月1日～2023年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	1,132	2.9	269	11.4	269	11.3	186	11.4
2022年12月期第2四半期	1,100	20.6	242	35.0	242	36.3	167	37.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	48.79	-
2022年12月期第2四半期	42.92	-

（注）潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	2,561	2,150	83.9
2022年12月期	2,376	1,936	81.5

（参考）自己資本 2023年12月期第2四半期 2,150百万円 2022年12月期 1,936百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	-	0.00	-	0.00	-
2023年12月期	-	0.00	-	-	-
2023年12月期（予想）	-	-	-	0.00	-

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,400	10.1	575	10.4	575	10.5	396	10.3	104.11

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期2Q	3,892,600株	2022年12月期	3,892,600株
② 期末自己株式数	2023年12月期2Q	62,837株	2022年12月期	84,637株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期2Q	3,813,986株	2022年12月期2Q	3,892,600株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項などについては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（投資家向け四半期決算説明会の日程及び四半期決算説明資料の入手方法）

当社は、2023年8月18日（金）に機関投資家向け説明会及び2023年8月22日（火）に個人投資家向け説明会を開催する予定です。また、四半期決算説明資料はT D n e tで2023年8月9日（水）に開示するとともに、決算説明の動画も別途制作し、同日当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行により、経済活動が正常化に向かう一方、ロシア・ウクライナ情勢の長期化による資源価格の上昇など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社は「SaaS事業成長」「顧客価値向上」に向け、積極的に取組みを行いました。

当第2四半期累計期間におきましても、引き続き次のような提供サービスの拡充を行っております。

・SMS配信サービス「Cuenote SMS」

2023年4月に双方向SMS機能をご利用いただく際に、携帯4社の共通番号(共通ショートコード)に対応を行い提供開始しております。これまで、企業と個人がSMSを送受信する場合には、企業側が携帯4社の利用者向けにそれぞれ個別の番号を用意する必要がありましたが、携帯4社の共通番号に対応することで、1つの番号で本人認証、重要な通知、業務連絡、プロモーションなどのSMSを送受信できます。また、共通番号は携帯4社が企業単位で発行する番号であり、企業の番号が認識しやすくなることから、送信者のなりすましやフィッシング詐欺を抑制し、企業と個人間における安心・安全なメッセージングサービスの利用にも繋がります。

2023年6月にWebhook対応の配信結果コールバック機能を追加するほか、利便性の向上を目的に同サービスの機能を追加し、提供を開始しております。これまで、APIを用いてCuenote SMSから送信したSMSの配信結果を得るためには、定期的に配信結果を取得する必要がありましたが、今回、追加したWebhook対応の配信結果コールバック機能を利用することで、SMSの配信結果をリアルタイムに受け取ることが可能になります。

・Webアンケート・フォームシステム「Cuenote Survey」

2023年5月にGoogleが提供するタグ管理システム「Google タグマネージャー」(以下GTM)に対応した最新版の提供を開始しております。GTMは、Googleが提供するタグ管理システムで、Webサイトの効果測定や分析などに欠かせないタグの管理を効率的に行うことができるシステムです。この対応により、アンケートやフォームの効果測定や分析を効率的に実施、管理できるようになります。

サービス提供種別の売上高の概況は以下のとおりであります。

・ストック型収益：Cuenote SaaSのサブスクリプション(サービス利用)売上並びにソフトウェア保守売上が含まれます。当第2四半期累計期間はエンタープライズ企業への導入が進んだことに加え、引き続き配信数を増加できたことからストック型収益は1,107,831千円(前年同期比2.9%増)、当第2四半期末定期契約額は190,033千円(前年同期比10.8%減)となりました。

・スポット型収益：Cuenote SaaSの初期売上(初期利用登録、カスタマイズ、セキュリティ証明書などの取得代行)並びにソフトウェアライセンス売上(オンプレミス)が含まれます。当第2四半期累計期間の売上高はSaaSの新規受注が堅調に推移したことから、24,446千円(前年同期比5.6%増)となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高は1,132,278千円、営業利益は269,662千円、経常利益は269,668千円、四半期純利益は186,096千円となりました。

なお、当社はメッセージングソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の財政状態は、前事業年度末に比べて、四半期純利益の計上により純資産が214,654千円増加し、財政状態は良好な状態で推移しております。

資産、負債、純資産別の財政状態は以下のとおりです。

(資産)

当第2四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末に比べて185,482千円増加し2,561,812千円となりました。これは主に売掛金の回収による現金及び預金の増加122,641千円、譲渡制限付株式の交付による前払費用の増加28,746千円及び、設備投資による工具、器具及び備品の増加16,740千円等によるものです。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べて29,171千円減少し411,014千円となりました。これは主に賞与引当金の増加63,305千円、買掛金の増加18,729千円、賞与の支給に伴う未払費用の減少100,826千円及びその他流動負債の減少23,668千円等によるものです。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べて214,654千円増加し2,150,798千円となりました。これは四半期純利益の計上による利益剰余金の増加184,155千円及び譲渡制限付株式報酬としての自己株式の

処分による増加30,498千円によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は、前事業年度末に比べて122,641千円増加し、1,843,845千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は149,466千円となりました。収入の主な内訳は、税引前四半期純利益269,668千円、賞与引当金の増減額63,305千円、減価償却費36,586千円、株式報酬費用6,018千円等であり、支出の主な内訳は、未払費用の増減額100,826千円、法人税等の支払額104,547千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は26,824千円となりました。これはデータセンター用機材などの有形固定資産の取得による支出26,534千円等により資金が減少したことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

該当事項はありません。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の業績予想については、2023年2月10日付「2022年12月期決算短信」で公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,721,203	1,843,845
売掛金	296,870	295,092
原材料	236	3,268
その他	52,574	77,545
貸倒引当金	△592	△566
流動資産合計	2,070,292	2,219,186
固定資産		
有形固定資産		
建物	32,491	30,929
工具、器具及び備品	124,306	141,760
有形固定資産合計	156,798	172,689
無形固定資産	24,662	20,168
投資その他の資産		
敷金及び保証金	89,559	89,559
その他	35,017	60,209
投資その他の資産合計	124,577	149,768
固定資産合計	306,037	342,626
資産合計	2,376,330	2,561,812
負債の部		
流動負債		
買掛金	14,216	32,946
未払費用	169,294	68,467
前受金	27,548	40,229
未払法人税等	114,173	114,802
賞与引当金	-	63,305
その他	114,952	91,264
流動負債合計	440,185	411,014
負債合計	440,185	411,014
純資産の部		
株主資本		
資本金	273,853	273,853
資本剰余金	191,351	191,351
利益剰余金	1,589,345	1,773,501
自己株式	△118,406	△87,908
株主資本合計	1,936,144	2,150,798
純資産合計	1,936,144	2,150,798
負債純資産合計	2,376,330	2,561,812

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	1,100,111	1,132,278
売上原価	388,132	361,281
売上総利益	711,978	770,996
販売費及び一般管理費	469,871	501,333
営業利益	242,107	269,662
営業外収益		
受取利息	7	8
その他	73	-
営業外収益合計	80	8
営業外費用		
支払手数料	-	2
営業外費用合計	-	2
経常利益	242,188	269,668
税引前四半期純利益	242,188	269,668
法人税、住民税及び事業税	94,224	105,538
法人税等調整額	△19,105	△21,965
法人税等合計	75,118	83,572
四半期純利益	167,069	186,096

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	242,188	269,668
減価償却費	33,507	36,586
株式報酬費用	-	6,018
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	393	△26
受取利息及び受取配当金	△7	△8
売上債権の増減額 (△は増加)	△62,775	1,777
棚卸資産の増減額 (△は増加)	371	△3,031
仕入債務の増減額 (△は減少)	△554	18,729
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△3,999	△5,980
未払金の増減額 (△は減少)	18,089	△33,056
未払費用の増減額 (△は減少)	△106,822	△100,826
前払費用の増減額 (△は増加)	△15,885	△9,132
長期前払費用の増減額 (△は増加)	2,933	296
賞与引当金の増減額 (△は減少)	68,435	63,305
その他	14,298	9,687
小計	190,173	254,007
利息及び配当金の受取額	5	6
法人税等の支払額	△60,525	△104,547
営業活動によるキャッシュ・フロー	129,654	149,466
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△51,713	△26,534
無形固定資産の取得による支出	-	△290
投資活動によるキャッシュ・フロー	△51,713	△26,824
財務活動によるキャッシュ・フロー		
財務活動によるキャッシュ・フロー	-	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	77,940	122,641
現金及び現金同等物の期首残高	1,513,197	1,721,203
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,591,138	1,843,845

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年4月14日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬としての自己株式21,800株の処分を行っております。この結果、当第2四半期累計期間において、利益剰余金が1,940千円、自己株式が30,498千円減少し、当第2四半期会計期間末において利益剰余金が1,773,221千円、自己株式が87,908千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、メッセージングソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。